



# おにぎり通信

2010年8月28日（土曜） 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

セミの声が騒がしい暑い夏がまだまだつづいています。みなさん体調はいかがでしょう。セミといえば、〈蝉時雨 子は担送車に 追いつけず〉という俳句があります。1909年生まれの女流俳人で、文芸評論家山本健吉の妻でもあった石橋秀野さんの作品です。若いころから結核で苦しんだ秀野さんは、昭和22年に病状が悪化し、入院しました。担送車とはストレッチャーのことです。病院の廊下を担送車に乗せられて移送されていく秀野さん。外からは盛大な蝉時雨が聞こえていました。そのとき子どもが「お母ちゃん、お母ちゃん」と泣きながら自分を呼んでいるのが聞こえました。しかし、子どもの足では担送車に追いつけなくて、その声は次第に小さくなってゆくのでした。秀野さんはその2カ月後、38歳の若さで亡くなりました。



## ☆ 福祉行動報告 8/16（月）

Aさん（68歳）両足首の腫れ等の治療を希望され、病院に向かわれました。

Bさん（40歳）港寮を希望され、18日（水）に入寮予定となりました。

次回の福祉行動：8月30日（月）、東京駅丸の内北口タクシー乗り場前に、

朝8時半までに集合です。

病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

もより ぶくしじむしょ  
最寄の福祉事務所

ちゅうおうくふくしじむしょ ちゅうおうくつきじ ちゅうおうくやくしよ かい  
中央区福祉事務所・中央区築地 1-1-1 中央区役所 4階

ちよだくふくしじむしょ ちよだくくだんみなみ ちよだくやくしよ かい  
千代田区福祉事務所・千代田区九段南 1-2-1 千代田区役所 3階

なつ こうこうやきゅう しゅうまく こうしえん たたか かげ  
夏の高校野球が終幕となりましたが、はやなかな甲子園での戦いの陰で、  
けんたいかい いっかいせん はいたい おお しやうり て こうこう  
県大会の一回戦で敗退したけれど、大きな勝利を手にした高校があります。

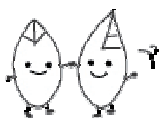
あきたけんりつ ごじょうめこうこうやきゅうぶ しゅう いちど きゅうじ こえ  
「(秋田県立)五城目高校野球部のグラウンドから週に一度、球児たちの声  
が消える。難聴の投手・小松祐樹君(3年)の気持ちを理解しようと、4月  
から取り組んでいる無声の練習だ。部員たちはサイレント・ベースボールと  
よ 呼ぶ」。この新聞記事が紹介している小松君は、生まれつきほとんど耳が聞  
こえないのですが、しょうがっこう やきゅう う こ ちゅうがっこうそつぎようご  
小学校から野球に打ち込んでいました。中学卒業後、  
ろうがっこう はい すす こうしえん なかま めざ  
ろう学校に入ることを勧められますが、「あこがれの甲子園を仲間と目指し  
たい」と五城目高校に進学。

ねんせい せんしゅ かつやく こまつくん  
1年生のときからレギュラー選手として活躍する小松君は、「ろう」ゆえ  
にマスコミなどの注目を浴びます。しかしそれが原因で他の選手との間に溝  
しょう かんたく はじ  
が生じます。そこで監督が始めたのが「サイレント・ベースボール」でした。

とうしよ がいや みあい お ないや れんけい  
当初は外野フライをお見合いして落としたり、内野の連係プレーでミスが  
つづ さんざん こまつ やきゅう  
続いたりと散々でしたが、やがてチームメイトは「もし小松だったら野球は  
こわ かな とぎ こまつ  
怖くてできなかった」「つらいことや悲しい時があっても(小松のように)  
さいご えがお の こ こまつくん きょうかん  
最後は笑顔で乗り越えたい」と小松君に共感するようになります。

こまつくん ひ じぶん せかい ふ  
小松君も「サイレント・ベースボールの日は、みんなが自分の世界に踏み  
い ころ ころ いじょう かよ きも  
入れてきてくれて心と心がいつも以上に通いあっているような気持ちでし  
た。(中略)『ありがとう』の感謝の気持ちでいっぱいです」と言っています。

かんしゃ た ひと ころ む じぶんひとり い  
感謝するとは「他の人に心を向けること」「自分一人で生きているのでは  
ないことに気づかされること」と改めて思わせてくれるエピソードです。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ  
ばこ い かたづ きょうりよく ねが  
箱に入れるなどして片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは  
かならずその日のうちにお召し上がり下さい。

れんらくさき いわた  
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：090-4959-0652 岩田